



冬休みを有意義に過ごそう！

今年も、あと数日を残すのみとなりました。今年はコロナ禍の中でも、少しずつ学校行事などがおこなえるようになり、生徒の皆さんは、学校生活を充実させようといろいろと工夫をしながら、ここまで頑張ってきたことと思います。

年が明けると、中学生にとっては進級・進学の時期が間近に迫ってきます。いろいろと慌ただしい年末年始ではありますが、ぜひ先の見通しをもって有意義な冬休みを送ってほしいと願っています。保護者の皆様方には、様々な面でご支援をいただきまして感謝申し上げます。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

《冬休みの過ごし方》

①学習計画を立てよう！

冬休みの学習計画を立てる時は、まず全体の勉強量を決めましょう。冬休みは短いので、全体の勉強量を年末・年始に分けて大まかに計画を立て、そこから日割りでやることを整理してみましょう。忙しくなる年末年始のことも考えて、“確実に出来る予定”を立てましょう。

②体調管理には十分に気をつけよう！

基本的なことですが、体調管理には十分注意を払いましょう。コロナウイルスへの注意に加えて、これからはインフルエンザやノロウイルスが流行する時期です。体の免疫力を下げないためにも、なるべく学校のある日と同じ生活サイクルを心がけましょう。

③家事を手伝うと成績も伸びる？！

ある調査で「家事を手伝う子は比較的正しい生活習慣を持ち、家族関係がより密である」と分析されていました。手伝いをしたお子さんを“褒める”ことで、ますますよい循環ができるようです。

年末年始の忙しい時ではありますが、この時期に今までの学習の復習をすることは、とても大切なことです。計画を立てていない人は下記のポイントを見ながら、今からでも、学習の計画を立て、充実した冬休みを過ごしましょう。



1年生は・・・

これまでに中学校で学習した内容を総復習しましょう。

- ・授業で使ったノート・プリントの整理（またはもう一度書き写す）
- ・ワーク等をもう一度（二度）ノートにやってみる。
- ・定期テストで間違えたところをやり直す。（分からないところはチェックして後で先生に質問する）

2年生は・・・

1・2年の学習の復習をし苦手分野の克服に努めましょう。

- ・苦手な教科や、得意な教科の中でも苦手な分野を確認し、その分野に時間をかけ、じっくりと取り組む。
- ・特に2年生で学習した内容は、1年生同様ノート、ワーク、プリント等を使ってよく復習する。できないところをそのままにしない努力をしよう！
- ・4月からは“受験生”だという自覚をもって、冬休みに保護者の方と進路についてよく相談しておきましょう。目標が定まると、学習へのモチベーションも上がります。高校受験の仕組みなど情報収集もおきましょう。

3年生は・・・

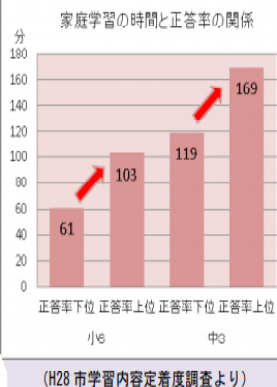
今まで自分がやってきたことを見直しましょう。

- ・受験する高校の過去の入試問題を繰り返し解いてみよう。できなかったところは、教えてもらったり解説等を読んだりして、同じような問題が出たときに解けるようにしておこう。解答時間も意識しよう。
- ・余裕がある人は、3年間の総まとめとして今までに学習したことをノートに簡単にまとめてみよう（冬休みに終える範囲で）。文字は丁寧に、色ペンなども使って分かりやすくまとめよう。

以前に、宇都宮市の教育委員会から出されたリーフレットです。学力をつけていくためには、家庭学習はとても大切です。冬休みにぜひご家族でお読みください。

平成28年度に実施した市学習内容定着度調査のデータをもとに学習時間と正答率の関係を調べました。

グラフ中の「正答率上位」は、調査の正答率が上位25%、「正答率下位」は正答率が下位25%の児童生徒を指しています。



学力の向上に家庭学習は欠かせません

左のグラフは、家庭学習の時間と正答率の関係を表しています。家庭学習の時間が長い児童生徒の方が、正答率が高いことが分かります。

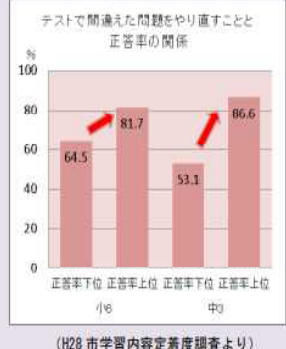
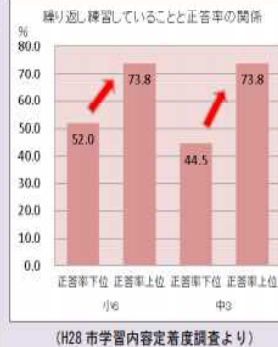
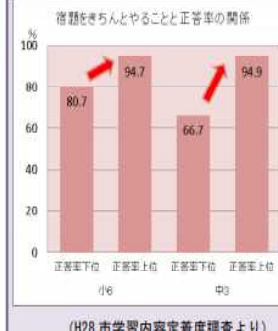
学習の成果を上げるためには、学校での授業に真剣に取り組むことに加えて、毎日の家庭学習が大切になります。お子さんに家庭学習の習慣を付けさせるために、保護者としてできることについて、調査の結果から分かったことをもとに提案します。

家庭学習で何をすればよいか分からない子には...

宿題・やり直し・繰り返しが家庭学習の基本メニューです

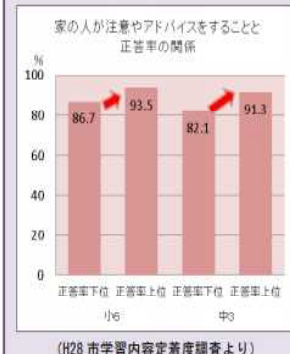
右のグラフから、宿題を期日までに提出している、新しく習ったことを繰り返し練習している、テストの間違いをやり直している児童生徒の方が、正答率が高いことが分かります。

まず、これら三つのことに取り組むことから始めるようにアドバイスしてみましょう。



家庭での会話を大切にしましょう

生活へのアドバイス、学校や社会のできごと、将来の夢について語ること、認め励ますことが大切です



左のグラフから、家の人から生活態度について必要な注意やアドバイスを受けている児童生徒の方が、正答率が高いことが分かります。また、学校のことや世の中のこと、将来の夢などについて家の人と話している児童生徒の方が、正答率が高いという調査結果も出ています。

努力や成長を認め、励ましましょう

人から認めてもらうことは児童生徒の成長にとって重要です。勉強のことに限らず、できるようになったことを見つけ、小さな成長を認めてあげましょう。

「集中してできるようになったね。」
「最後までやり抜いて立派だったよ。」
「ちゃんと間違い直しもやっているんだね。」
「最近、机が片付いているね。」
「〇〇を上手にできるようになってきたね。」
「いつも明るいあいさつをしてくれてうれしいよ。」



もし、家庭学習が「三日坊主」だったとしても、意欲を失わないように励ましましょう。「三日坊主」も繰り返せば「習慣」になります。

3年生は、冬休み中から私立高校の入試が始まります。学校生活と同じ生活のリズムを崩さないように、体調管理にも十分に気を配りましょう。

1・2年生は、冬休みの課題も計画的に終わらせ、そして自主学習にも進んで取り組みましょう。

この冬休みの頑張りを来年、存分に発揮してください。

新しい年に向けて、新たな目標を立ててがんばりましょう。



みなさんよいお年を

